

経理の新時代へ——ファーストアカウンティングが経理シンギュラリティ構想についての記者会見を開催

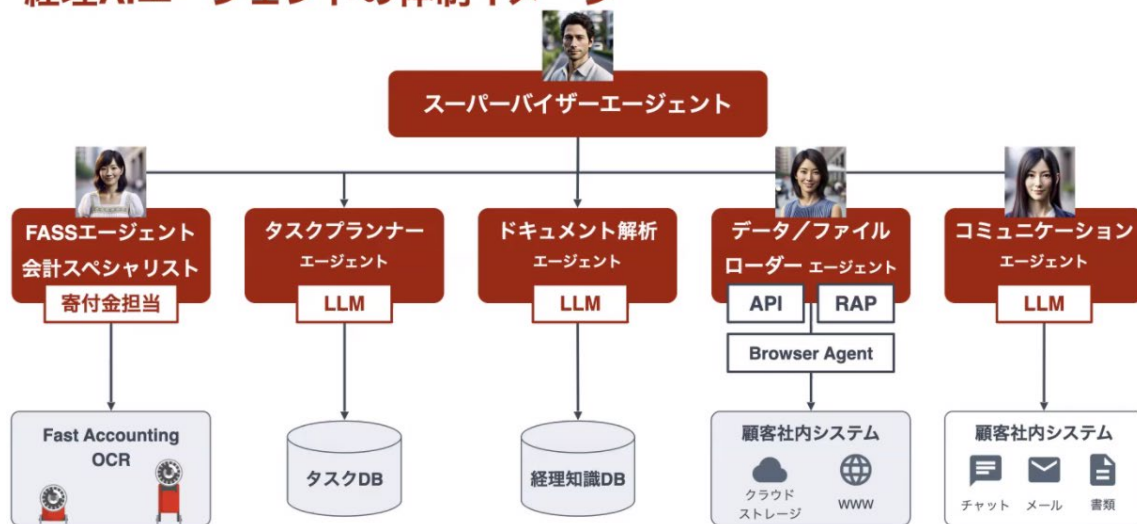
ファーストアカウンティング株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：森 啓太郎、以下、ファーストアカウンティング）は、3月27日に「経理シンギュラリティ構想」について記者発表会を行いました。

■経理シンギュラリティ構想とは

一般に「シンギュラリティ」とは、AIが人間の知能を超える転換点を指します。ファーストアカウンティングは、経理業務に特化したサービスを展開してきた豊富な知見と、独自に開発を進めてきた生成AIの技術力を活かし、経理実務に必要な業務知識を理解・学習する「経理AIエージェント」の開発に成功しました。

この「経理AIエージェント」は2024年12月、CFO協会が実施するFASS検定（経理・財務スキル検定）において最高ランクのレベルAを取得。経理業務におけるAIの高度な実用化を実証し、「経理シンギュラリティ」の実現に向けた大きな一歩を示しました。

経理AIエージェントの体制イメージ



■ファーストアカウンティングのコメント

経理部門での深刻な人手不足の中、経理の現場では依然として入力や仕訳の確認・判断が人手に頼る部分が多く課題となっていますが、今回発表した「経理シンギュラリティ」は単にAIが業務を補佐・代行するだけでなく、経理パーソンをERPの入力や確認作業から解放することを意味します。経理パーソンが企業のROEやROICの改善などの戦略経理を支える中枢となり、企業価値の向上へ直接貢献ができる時代が到来すると予想します。私たちは今後も経理DXを通じて、経理パーソンによる企業価値向上へと貢献してまいります。（代表取締役社長 森 啓太郎）

■ファーストアカウンティングについて

【経理シンギュラリティで、制約を取り払い、自信と勇気を与える】

ファーストアカウンティングは、AI技術を活用し、経理業務の自動化・効率化を推進する企業です。生成AIやコンピュータービジョンを駆使した自社開発サービスを、多くの大企業の経理部門や会計ベンダーに向けて展開。「経理シンギュラリティ」を実現し、経理部の人手不足の解消と企業価値の向上に貢献します。

最先端のAI技術を取り入れながら、「世界に通用するAIの力」で正確かつ迅速な会計処理を可能にし、戦略的な経営判断へと繋がる新時代の経理ソリューションを提供します。

社名：ファーストアカウンティング株式会社（東証グロース：5588）

所在地：東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルA館 3階

設立：2016年6月

代表：代表取締役社長 森 啓太郎

URL：<https://www.fastaccounting.jp/>

事業内容：経理AI事業（会計分野に特化したAIソリューション）

- 経理業務のAIモジュール『Robotaシリーズ』
- 請求書処理のプラットフォーム『Remota』
- デジタルインボイス送受信サービス『Peppolアクセスポイント』

■本件に関するお問い合わせ

ファーストアカウンティング株式会社

担当：広報担当

E-mail: press@fastaccounting.co.jp

すべての製品名および会社名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。